

# 破傷風

---

## 接種回数・接種量

	接種回数	接種量
任意接種	3～4 週間隔で 2 回 6～12 カ月後に追加 1 回	0.5 ミリリットル皮下または 筋肉内接種

## 破傷風ワクチンについて

- 接種部位が赤く腫れる場合がありますが、1 週間くらいで軽快します。
- 接種回数が増えるにつれ腫れやすくなります。
- 破傷風は広く世界中に分布していますので、成人で海外渡航される方、土壌を触る機会が多い仕事の方は接種をお勧めします。
- 1969（昭和 44）年 4 月以前の生まれの方は幼少時に DPT（ジフテリア、百日咳、破傷風）3 種混合ワクチンを接種していませんので、破傷風予防には破傷風ワクチンを接種しています。

## 暴露後接種

外傷後に破傷風の感染が疑われる場合、破傷風ワクチンを健康保険で接種することができます。

破傷風ワクチンの接種歴、傷の様子により、スケジュールが異なります。